

土砂災害

由岐小学校六年 おざき こころ 尾崎 瑚々呂

私は、土砂災害の学習をして日ごろからの備えと土砂災害が起こった時に早めひなんが大切だと分かりました。特に、大雨が降った時や津波が起こった時などが起こりやすいと分かったので気をつけておきたいと思いました。

それに、マップを使ってもし土砂災害が起こった時にどこににげるかを話し合いました。遠いけど安全な道か、近いけど少しきけんな道もあってすごくなやみました。でも私は、近い方を選びました。理由は、大雨とかが起こってから、二時間と言っていたから近い方を言っても全然安全だと思ったからです。けど、二時間もあるから遠い方でもいいし、その方がより安全だと話しを聞いていて思いました。だから、その時の情報や状況で判断したいです。

私は、土砂災害の勉強をしてもっと知りたいなと思ったので調べたり聞いたりしました。そしたら、土砂災害が起こる時にはサインがあることが分かりました。それは、地鳴りや山鳴り、石のぶつかり合う音が聞こえたり、雨が降り続けているのに川の水位が下がるなどしたら土砂災害が起きることが分かりました。私の家の後ろはすぐ山であぶないからそんなことがあったら、気をつけたいなと思いました。

私はこんなにいろいろなことが分かったから生活にいかしていきたいです。例えば、ひなんルートで安全な道を家族や近所にいる人に教えてみんなが助かるようにしたいです。それに、災害のサインがあったらみんなに教えたりひなんを呼びかけたいと思いました。日ごろの備えも大切だと言っていたから、ひなんルートを確認したり、防災バッグを作り直したりして備えたいです。この学習で土砂災害の怖さや、それをどう防ぐかがよく分かったので、みんなが助かるように、しっかり教えてもらったことを覚えておきたいです。